

【テーマ】

公益法人を目指す一般法人や公益法人の支援の在り方について
～公益認定申請相談や法人運営相談の実情を踏まえて～

【趣旨】

現行の公益法人制度は実施から 8 年目を迎え、全国的に特例民法法人から公益法人への移行がおおむね完了する一方、新たに一般法人から公益認定を受ける法人が着実に増加している。

このような中、公益法人には「自立」と「自律」に基づく安定的運営が、公益認定を目指す一般法人には公益法人制度に関する適切な理解が求められている。また、これらの法人の審査・監督を行う公益認定等委員会においては、法人の実情や課題を踏まえつつこれまでの知見と経験を生かして現行制度の運用に関する情報提供を行うなど、法人の支援の在り方を充実していくことが有益であると考えられる。

このような観点から、内閣府相談員（＊）の参画を得て、法人からの相談内容を踏まえて意見交換を行い、知見を共有して全国へ発信するとともに、公益法人を目指す一般法人や公益法人の支援の在り方の検討に生かし、もって国民・市民のための公益の増進に資する。

＊一般法人又は公益法人を対象に平成 22 年度から実施している「新公益法人制度の理解を深めるための相談会」において各法人からの個別相談に対応している相談員。弁護士、公認会計士、税理士等の専門家に対して内閣府が委嘱。

＜視点例＞

1. 一般法人からの公益認定申請に関する相談について

- （１）公益認定申請を行うか否か検討中の法人は、どのようなことを気にしているか。法人は公益認定のメリット・デメリットをどのように感じているか。旧公益法人から一般法人に移行した法人と、新規に一般法人を設立した法人との間で認識の相違はあるか。
- （２）上記のような相談があった場合、相談員から、公益認定のメリット・デメリットをどのように説明しているか。
- （３）公益認定申請を予定している法人からは、どのような事項・内容の相談が多いか。
- （４）相談事例を踏まえ、より円滑な公益認定に向け、法人に対してどのような支援や取組が必要と考えるか。

2. 公益法人からの運営に関する相談について

- （１）どのような事項・内容の相談が多いか。
- （２）相談内容や相談に訪れる法人の傾向について、①地域ごとの特徴、②経年的な変化、③社団・財団別の特徴などはみられるか。
- （３）相談事例を踏まえ、自主的・自律的な運営の充実に向け、公益法人に対してどのような支援や取組が必要と考えるか。